



港区立南山幼稚園

Minato City, Nanzan Kindergarten

9月園だより

令和5年8月29日
August 29, 2023
園長 河合 晴美
Principal
Harumi Kawai



2学期に向けて

園長 河合 晴美

今年、セミの声とともに梅雨が明けました。そして、園内に響くニイニイゼミ、ミンミンゼミ、クマゼミにアブラゼミと夏休み中も子どもたちに聞かせるようにセミの声が響いていました。しかしながら、猛暑が続く植物にとっては過酷な暑さになっていました。体調管理に十分注意を払う夏の日々でしたが、皆さまは、いかがお過ごしでしたでしょうか。職員室では、子どもたちが元気に登園する姿を思い浮かべ、楽しみにしているところです。

さて、幼稚園では2学期の始まりに向け、職員間で話し合いをしています。子どもたちの興味や関心を考え、教育活動が楽しく進められるように考えています。まずは、9月に学校2020レガシー教育事業として「かけっこ」について、講師の先生をお招きし教えていただきます。走り方を見たり、教えていただいたりしながら、子どもたちが受け止めたこと、取り入れたことが今後の姿に活かされることを期待しています。そして、伸び伸びと体を動かしていき、10月中旬の親子運動会に向けてより楽しめるようにしていきます。

また、秋に向けさらに自然との関わりが充実するように、園庭に特定の生き物に対するビオトープを作りました。既存の南山の池の他、生き物の特性に応じた環境を用意することで、より生き物が身近になり親しめることや子どもたちがよく見たり、何かを見付けたりする姿を期待しています。そして、大人も子どもも一緒になって、思いを表し楽しめることを期待しています。

休み明けは、今までの生活が変わることでの不安もあります。暑さが残る中、生活のリズムを取り戻すことも容易なことではないかもしれません。幼稚園では、子どもたちの心のあり様をとらえながら園生活が軌道に乗れるように心を寄せていきます。休み前にお願いしました「夏休み新聞」をきっかけに、「ねえ ねえ・・・」「あのね・・・」と子どもたちとの距離が近くなるように接していきます。そして、「また明日も通いたい」という思いで充実した一日一日になるように、職員一同力を尽くしてまいります。

引き続き御理解・御協力を賜りますようお願いいたします。



<新しくなった遊戯室の床>



<園庭には、セミの抜け殻がいっぱい!>